

プログラムNo.	1							プログラムNo.	2						
プログラム概要								プログラム概要							
受入先名称	戸塚区地域子育て支援拠点 とつとの芽							受入先名称	特定非営利活動法人 ことぶき福祉作業所						
プログラム名	とつとの芽～子どもと触れ合おう！～							プログラム名	日本三大「ドヤ街」の寿町で日本の格差問題を考えよう！						
活動の目標	子どもたちと触れ合い、一緒に過ごすことで、より子どもを好きになってもらう。							活動の目標	日本の貧困地区である寿町に暮らす人々との共同作業を通して福祉について考え、「気づき」を得ましょう！						
内容	戸塚区地域子育て支援拠点とつとの芽を訪問し、未就学児の子どもと遊ぶボランティアに参加します。 ・清掃・・・広場の掃除を職員さんともします。 ・事業内容説明・・・とつとの芽の成り立ちや、注意事項などをお話しいたします。 ・イベントや広場への参加・・・おもちゃや絵本の読み聞かせなどをして、子どもたちと遊びます。 ・昼食 ・段ボールバスの作成・・・段ボールバスを使って子どもたちが遊びます。							内容	ことぶき福祉作業所は、障害を持つ人々が働ける場として運営されているNPO(特定非営利活動法人)です。 福祉作業所で作業(しおり作り)のお手伝い、寿町の探検、寿公園で炊き出しのお手伝い、学童保育で子どもたちと触れ合う、など盛りだくさんの企画です！						
備考	[当日の持ち物、服装] エプロン、筆記用具、昼食、往復の交通費 [昼食について] 昼食は各自持参。また、12時～13時の間に外食や昼食を買いに行くことも可能です。 [参加の注意点] 動きやすい服装での参加をお願いします。(女性はスカートは避けてください) また、アクセサリは身に着けないようにしてください。							備考	[当日の持ち物、服装] 長ズボン、スニーカーなどの動きやすい服装で来てください。 雨天時には雨具(傘やレインコート)のご準備をお願いします。 [昼食について] 昼食は炊き出しの食事を一緒にいただきます(自己負担なし) [参加の注意点]						
このプログラムのおすすめポイント	0歳～未就学児の子どもと触れ合えます。また、保護者の方もいらっしゃるので、子育てや子どものことについても話を聞くことができます。							このプログラムのおすすめポイント	あまり知る機会、行く機会のない日本の貧困地区である寿町を知り、障害という「社会的ハンディ」を持つ人々と交流することで今まで見てこなかったことが見えるようになるかも！						
リーダーから参加学生にむけて一言！	子どもが好きな方、普段なかなか子どもと触れ合う機会がないので参加してみたい！という方、大募集です。充実した一日を一緒に過ごしましょう！							リーダーから参加学生にむけて一言！	ことぶき福祉作業所の方によると、「障害を持った人々は、健常者の何倍もの努力をかけて作業をしている」そうです。 障害を持った人々について、日本の貧困や格差問題について、みんなで考える一日にしませんか？						
実施日程・募集人数								実施日程・募集人数							
※参加回数 ※事前学習、学生履合せを を除外	全	1	回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計		※参加回数 ※事前学習、学生履合せを を除外	全	1	回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計	
第1回	日程A	6月7日	土曜日	4人	1人	5人		第1回	日程A	6月13日	金曜日	10人	1人	11人	

プログラムNo.	3						
プログラム概要							
受入先名称	横浜YMCAワークサポートセンター「パン工房Ange」						
プログラム名	YMCAワークサポートセンターの方と地域福祉のボランティア						
活動の目標	日ごろお世話になっている近隣の方への感謝を込めて通所者の方や職員の方と清掃をすることで人と人の信頼関係を築く。						
内容	明治学院大学横浜校舎正門に出て1分の所にあるYMCAワークサポートセンター「パン工房Ange」は発達障害のある10代、20代の方が働く場を持つためにパンやクッキーの製造をして、毎週木曜日に明学でもパンの販売をしています。今回は、パン工房Angeの職員さんや通所者の方と地域清掃をしていただきます。 [雨天時のプログラム内容] Ange内の事務所、製パン所の清掃						
備考	[当日の持ち物、服装] 軍手 [昼食について] なし [参加の注意点] 特になし						
このプログラムのおすすめポイント	地域の方や通所者の方と交流をすることが出来ます。様々な人対人のコミュニケーションを意識できると思います！						
リーダーから参加学生にむけて一言！	短めのプログラムですが、充実した一日にできるよう鋭意頑張っております。ぜひいらしてください。						
実施日程・募集人数							
※参加回数 ※事前学習、学生履合せを を除外	全	1	回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計	
第1回	日程A	6月14日	土曜日	4人	1人	5人	

プログラムNo.	4						
プログラム概要							
受入先名称	宗教法人 善了寺						
プログラム名	デイサービス 還る家とともに ～“なごみ”の空間 1日体験～						
活動の目標	生と老いと病いと死と、ともに向かい合い、ともに笑い、ともに悲しみ、一人ひとりの個性とその人なりの生き方を大切に、ゆったりとした時間を過ごす。						
内容	戸塚にある「デイサービス 還る家とともに」は、利用者さんを初めスタッフやボランティア・地域の方々など、誰もがいつでも遊べる場所、心の深呼吸ができる場所。 同じく戸塚にある浄土真宗 善了寺というお寺が運営するデイサービスです。 お話をしたり、ゲームをしたり、歌を歌ったり、工作をしたり、ご飯を食べたり... 自分の家のようにくつろぎ、好きな場所に座り、思い思いの時間を過ごす利用者さんとともに、ゆったりとした1日を過ごしてみませんか？ [雨天時のプログラム内容] 変更なし						
備考	[当日の持ち物、服装] 動きやすく、華美すぎない服装。髪は長い方は束ねていただきます。 [昼食について] 受入先で用意します。昼食+おやつ代として当日700円を回収します。 [参加の注意点] 特になし。						
このプログラムのおすすめポイント	還る家とともにでは、色々な人がのんびりと1日を過ごしています。1日の過ごし方にプログラムはなく、その日のメンバーの意向をもとにその場で決められます。高齢者の方とのゆるやかな関わりは、利用者さんにとってだけでなく参加学生の皆さんにとっても自分自身を見つめ直し、自分の未来の姿を考えるきっかけとなるでしょう！						
リーダーから参加学生にむけて一言！	利用者さんと過ごす1日から、飾らず・気張らず・ありのままにしていることの心地良さを実感しましょう！ また、戸塚に通っている学生として地域に根差し、地域の方と交流することはこれからの生き方を学び、様々な世代と触れ合う貴重な機会です。 この1 Dayが皆さんにとって地域での活動のきっかけとなることを願っています。						
実施日程・募集人数							
※参加回数 ※事前学習、学生履合せを を除外	全	1	回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計	
第1回	日程A	6月14日	土曜日	4人	1人	5人	

プログラムNo.	5					
プログラム概要						
受入先名称	ことぶき学童保育					
プログラム名	ことぶき学童保育 ～子どもたちとの関わりを通して、感じ、考えよう～					
活動の目標	たくさんの子ともたちと積極的に関わりを持ち遊ぶことで、さまざまなバックグラウンドを持つ子どもたちの姿を受け入れ、理解する。					
内容	<p>かつては日雇い労働者の町であった寿町には、他の地域から居場所を求めてやってきた人々が暮らしています。また寿町がある中区はその住民の1割が外国籍の人々であり、ことぶき学童保育に通う子どもたちの多くが、外国と繋がりをもっています。</p> <p>プログラム当日、何をしようか、決まっていることはありません。子どもたちはかくれんぼや鬼ごっこ、卓球、テレビゲーム等遊んでいますので、積極的に声をかけて、仲間に入れてもらうような感覚で関わり合いを持ちましょう。(※指導員石井さんは、「子どもたちは「生活者」であって、ボランティアに関わってもらうための対象ではない」と考えてほしい)とおっしゃっていました。)自分が普段接することのない世界を一生目にすることなく生きていくこともできますが、このプログラムに参加してくれる人はそうではないと思います。「何ができて、何があげられるか」というものではなく、実際に見て、考えて、感じてみる。向き合ってみる。そういう一日に、みんなできていきたいです。</p> <p>「たった一日で、何かが変わったり、変えたり、また何かをしてあげることができるわけではない。そんなことは期待していない。とにかく子どもたちと関わりを持って遊び、そのままの姿の子どもたちを理解し、受け入れることが大切。(ことぶき学童保育 指導員 石井淳一さん)」</p> <p>*18時終わりとなっていますが、17時に児童館の子どもたちが帰った後に指導員の石井さんから1時間ほどレクチャーや振り返りのミーティングを行う予定です。</p> <p>*【事前の体験会(参加は任意です)】 日時:未定 実施場所:ことぶき学童保育 実施内容:子どもたちと実際に会って遊ぶ、指導員石井さんから頂いた資料をもとに簡単に勉強会を行う 持ち物・伝達事項:動きやすい服装、飲み物、交通費 ※詳細はリーダー-学生より後日ご連絡します。</p>					
備考	<p>〔当日の持ち物、服装〕 動きやすい服装、飲み物、おやつ持参。 〔昼食について〕 昼食は各自で済ませておいてください。</p>					
このプログラムのおすすめポイント	子どもが好きな方や、福祉に興味のある方、普段の生活ではあまり関わることのない世界と向き合うことを恐れない人に、ぜひ参加していただきたいです。一歩足を踏み入れると、私たちが普段目にするものがない、考えることもないような世界があります。それでも、このプログラムに参加してもらい、子どもたちと遊ぶことを通しながら、何かと「向き合う」ことの大切さを一緒に学んでいけたらと思います。					
リーダーから参加学生にむけて一言!	街の様子、子どもたちの様子に最初は驚くかもしれませんが、何をしてもかまいません。何をしてもかまいません。ただ子どもたちと一緒に遊んで、関わりを持って、向き合い、考える。そういうことを大切にしたいプログラムに、みなさんと一緒にしていきたいです。					
実施日程・募集人数						
※事前学習、学生顔合せを除外	全	1	回	募集人数	リーダー-学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6月14日	土曜日	9人	1人	10人

プログラムNo.	6					
プログラム概要						
受入先名称	世田谷区立特別養護老人ホーム 芦花ホーム					
プログラム名	老人ホームで、高齢者のお話を聞いたり、生きていることの素晴らしさについて考えよう!					
活動の目標	命の大切さについて考え、よりよく生きていくことを学ぶ。					
内容	<p>芦花ホームは、世田谷区により設立された特別養護老人ホームです。入所者の方、ショートステイ利用者の方が、その人らしくいきいきとした生活を送ることができるよう、ニーズに応じた個別ケアサービスの提供や居住空間整備の他、様々なレクリエーション活動や地域交流を活動に行っています。</p> <p>このプログラムでは、DVD鑑賞(施設のこと、また看取りについての内容のものです)、施設内見学、入居者の方との交流の時間、意見交換会などを行います(詳細は未定)。</p> <p>〔雨天時のプログラム内容〕 同様</p>					
備考	<p>〔当日の持ち物、服装〕 動きやすい服装、飲み物、弁当、運動靴</p> <p>〔昼食について〕 各自持参してください。</p> <p>〔参加の注意点〕 ヒールの高い靴で来ないようにして下さい。</p>					
このプログラムのおすすめポイント	高齢者の方々と交流することができます。それと共に、普段考えたことのないような、「よりよく生きていくためのヒント」を得られると思います。少し難しいテーマですが、参加学生の皆さんが楽しみながら話し合え、充実した時間を過ごせると思います。					
リーダーから参加学生にむけて一言!	学生同士、楽しみながら意見交換をしましょう。そして、高齢者の方々と交流を通して、どのように人生を楽しむかを、学び、命の大切さを実感しましょう!「いかによく生きるか」について一緒に考えたいと思います。					
実施日程・募集人数						
※事前学習、学生顔合せを除外	全	1	回	募集人数	リーダー-学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6月14日	土曜日	5人	1人	6人

プログラムNo.	7					
プログラム概要						
受入先名称	特定非営利活動法人 地域生活センター					
プログラム名	こころのバリアを飛びこえよう♪ ～グループホームへ「おじゃまします!」～					
活動の目標	障がいのある人たちの日常生活を、知り、身近に感じ、一緒に楽しむ。1Day for Othersの経験から、障がいのある人となんかつながりを持つような社会のために、自分たちに何ができるかを考える。					
内容	<p>「グループホーム」では、障がいのある人たちが、一つ屋根の下で、職員やボランティアの方々に支えられながらもたくましく生活しています。どこの町にもあるのですが、実際に関わった人はあまりいないかもしれません。今回は、複数のグループホームに少人数に分かれておじゃまして、買い物や、食事の介助をしながら、障がいのある人と交流します。</p> <p>〔雨天時のプログラム内容〕 変更なし。</p>					
備考	<p>〔当日の持ち物、服装〕 動きやすい服装で来てください。 〔昼食について〕 あり。職員の方が作ってくださるお料理をいただきます! 昼食代として、300円持参してください。 〔参加の注意点〕</p>					
このプログラムのおすすめポイント	普段なかなか知ることのできない世界に触れるチャンスです。職員さんの中には、なんと明学の卒業生の方も! 若い職員さんが多いので、私たちと近い年齢の方に、じっくりお話を伺えます。					
リーダーから参加学生にむけて一言!	障がいのある人が、普段どのように暮らしているのか、あなたは知っていますか?今回はグループホームへ行き、サポートをうけながら、互いに仲良く、楽しく生活しているようすを学ぶことができます。アットホームな雰囲気、貴重な一日を過ごしましょう!					
実施日程・募集人数						
※事前学習、学生顔合せを除外	全	1	回	募集人数	リーダー-学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6/7⇒荒天のため6/28に延期	土曜日	9人	1人	10人

プログラムNo.	8					
プログラム概要						
受入先名称	特定非営利活動法人 風の子会					
プログラム名	障がい者の方々と町に出掛けよう!					
活動の目標	障がい者の方々と関わることで、障がい者の方がより生活しやすい環境とは何かについて考える					
内容	<p>「障がい者は外に出よう」という企画で、参加学生はグループに分かれて、京急線沿線に出かける車椅子参加者の身のお世話をお願いします。実施予定日は5月25日(日)ですが、雨天時は6月1日(日)に順延します。実施に先立ち5月17日(土)に事前学習が行われます。事前学習では参加者のグループごとの割り振り、集合場所と役割分担を決めます。過去の例では障がい者3、4名に対し、健常者4.5名でひとつのグループになります。一日の流れとしては障がい者が集まりやすい山手線内の駅に集合し、京急沿線に移動、観光拠点などを複数訪ね、解散は品川駅港南口広場になります。当日は駅や街中で車椅子を押しながら話したり、食事のお世話などが主な作業になります。</p>					
備考	<p>〔当日の持ち物、服装〕 実施日当日、(昼食代+交通費)として一人当たり1,000円を徴収します。 (「自宅→集合場所」「解散場所→自宅」交通費は別途自己負担。) 〔昼食について〕 受入先で用意します。 〔参加の注意点〕 当日は動きやすい格好、歩きやすい靴で参加して下さい。</p>					
このプログラムのおすすめポイント	障がい者の方々と交流でき、また車椅子を押したり、車椅子を電車に乗せる際の方法などを体験することができます!					
リーダーから参加学生にむけて一言!	障がい者の方々がとても楽しみにしている行事なので、みんなで一緒に楽しみましょう!また、私たち明学生以外のボランティアの方々も参加するので、他の参加者からも多くのことが学べると思います!					
実施日程・募集人数						
※事前学習、学生顔合せを除外	全	1	回	募集人数	リーダー-学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	5月25日	日曜日	20人	1人	21人

プログラムNo.	9
プログラム概要	
受入先名称	株式会社 キッズベースキャンプ
プログラム名	キッズコーチとして子どもたちと関わるなかで、民間保育について知ろう!
活動の目標	キッズコーチ(学童保育指導員)の一人として子どもたちとふれあい、セミナーを通して民間学童保育について学ぶ。
内容	<p>[内容] 午前中は、参加学生は各キッズベースキャンプの各店舗(3~4施設)に分かれて、それぞれに民間学童保育の指導員(キッズコーチ)として子どもたちと一緒に活動をします。今年は子どもたちと一緒にオリジナルパフェやカブフルコースターを作るイベントを開催する予定です。 午後より、参加学生全員が本部に集合し、株式会社キッズベースキャンプ代表取締役島根様によるセミナーを行う予定です。</p> <p>[雨天時のプログラム内容] 雨天決行。内容に変更はなし。</p>
備考	<p>[当日の持ち物、服装] 動きやすい服装・からだを動かしやすい格好(スカートは不可)をお願いします。 (ex.)ポロシャツが寒いようでしたらトレーナー、下は長めの運動着 ※保護者の方から見ると不快に思われない着衣をお願いします(どくろNGなど)。</p> <p>[昼食について] 各自持参、または近くのコンビニで購入できます。 昼食は、セミナーが行われるキッズベースキャンプ本部でとることができます。</p> <p>[参加の注意点] 子どもの写真を撮るのはNGです。 写真を撮影する際は、スタッフの方に写真撮影の可否を確認してから撮影をしてください。</p>
このプログラムのおすすめポイント	公営施設ではない、民間の学童保育について学ぶことができます。 起業家でもある代表取締役の方と直接コミュニケーションをとることができます。
リーダーから参加学生にむけて一言!	大学生の普段の生活ではあまり関わることがない子どもたちと、同じ目線に立って交流できるチャンスです!! まだ見ぬ自分の潜在能力を発見してみませんか??
実施日程・募集人数	
※参加回数 ※事前学習、学生観合せを除く	全 1 回 募集人数 リーダー学生 参加学生数/合計
第1回	日程A 6月28日 土曜日 9人 1人 10人

プログラムNo.	10
プログラム概要	
受入先名称	社会福祉法人のびのび福祉会 社会福祉法人江東楓の会 第三あすなろ作業所
プログラム名	障がい者支援に1日参加しよう
活動の目標	作業所の見学と施設利用者と一緒に作業することで障がい者支援について深く理解する。
内容	知的障がい者が仕事をしている作業所に行きます。一度全員でひとつの作業所に集まって、作業所や障がい者福祉についての説明を聞き、施設の見学をします。その後3つの施設に分かれて作業体験をします。どのような作業を行うかは当日詳しく説明があります。箸の箸袋詰めや広告の数を揃えて分けるなどの作業を利用者と一緒に行う予定です。
備考	<p>[当日の持ち物、服装] 動きやすい服装をお願いします。ヒールは履かないようお願いします。</p> <p>[昼食について] 受入先でご用意いただけます。(昼食代不要。)</p> <p>[参加の注意点] 注意書きを施設長からいただいたので後日お配りします。</p>
このプログラムのおすすめポイント	意外と知られていない障がい者の社会参加や支援について実際の現場を見て学ぶことができます。1日のボランティア活動を通して障がい者支援について深く考えるきっかけにもなると思います。
リーダーから参加学生にむけて一言!	一緒に参加して充実した1日を作り上げましょう。
実施日程・募集人数	
※参加回数 ※事前学習、学生観合せを除く	全 1 回 募集人数 リーダー学生 参加学生数/合計
第1回	日程A 6月18日 水曜日 8人 1人 9人

プログラムNo.	11
プログラム概要	
受入先名称	社会福祉法人 社の会 障害者グループホーム
プログラム名	ご飯食べたり、遊んだり。 ~ 障害者グループホームで過ごしてみよう ~
活動の目標	知的障害のある方が地域で普通に暮らすことと、そのためのサポートがあるということ。それらを、学生さんたちに知ってほしい。
内容	<p>グループホームの一室で、休日を障害者の方と共に過ごす。学生同士で話し合い、過ごし方・遊び方を一緒に考えられたらとても良いです。</p> <p>[雨天時のプログラム内容] 同じ</p>
備考	<p>[当日の持ち物、服装] アクセサリー、短いスカートなどは控える [昼食について]当日、一緒に買いに行きます。(昼食代は自己負担) [参加の注意点]特になし ※1Dayに参加後、「また社の会にボランティアで参加したい」「継続的に活動したい」との希望がある場合は、歓迎していただけるそうです。</p>
このプログラムのおすすめポイント	障害者の方が普通に暮らすということ、一緒に遊んで過ごしながら自然に感じることができます。参加者も楽しみつつ、グループホームの方にも楽しんでもらいます。
リーダーから参加学生にむけて一言!	難しく考えることはなにもないです。ただ楽しめれば良いな、大学生だし、と思ってます。参加してみることで、学べることがたくさんあると思います。このプログラムは。
実施日程・募集人数	
※参加回数 ※事前学習、学生観合せを除く	全 1 回 募集人数 リーダー学生 参加学生数/合計
第1回	日程A 6月14日 土曜日 9人 1人 10人

プログラムNo.	12
プログラム概要	
受入先名称	とつか区民活動センター
プログラム名	戸塚の人と交流しよう! ~イベントとエコ活動を通じて~
活動の目標	戸塚の地域住民との世代を超えた交流を通して、環境について学び、戸塚でどうい活動が行われているかについて知る。
内容	とつか区民活動センターで土曜日のお昼に開催されているミニコンサートカフェのお手伝い(会場の準備、運営など)をします。その後、戸塚区でエコ活動されている「美織会」の方と一緒にグループワークや、普段だったら捨てちゃう納豆パックや牛乳パックを材料としたエコ小物づくりをして、エコについて楽しく学びます。1日を通じて、魅力あふれる戸塚に住んでいる地域の皆さんと一緒に活動し、交流します。
備考	<p>[当日の持ち物、服装] 未定。後日、リーダー学生よりお知らせします。 [昼食について] 各自、持参してください。 [参加の注意点] 特になし。</p>
このプログラムのおすすめポイント	戸塚区に住んでいる人たちは、明るくて気さくな魅力あふれる方たちばかりです。これは、戸塚の大きな魅力の一つだと思います。 このプログラムを通して、そうした方たちと触れ合わせることに加えて、普段エコについてほんやりとしか考えていなかったとしても、熱い思いを持った美織会さんと一緒に活動しているうちに、自分が今するべきことは何なのかを考えるきっかけになると思います! また、グループワークではボランティアについてといったこともテーマに挙げているので、ボランティアについても何をしたらいいのかわからない、どれを選べばいいのかわからないといった方にもおすすめです!
リーダーから参加学生にむけて一言!	みなさんは戸塚についてどれだけのことを知っていますか? 戸塚は自然もあり、おいしいご飯のお店もあり、魅力的な点は多くありますが、特に「人」が個性的です! わたしは1年間、戸塚に足を運びましたが、普通に大学生生活を送っているだけでは、戸塚の「人」の魅力に気付かなかったと思います。 1日エコについて学びながら、戸塚の人と交流して、戸塚の魅力と一緒に感じましょう!
実施日程・募集人数	
※参加回数 ※事前学習、学生観合せを除く	全 1 回 募集人数 リーダー学生 参加学生数/合計
第1回	日程A 6月14日 土曜日 5人 1人 6人

プログラムNo.	13
プログラム概要	
受入先名称	公益社団法人 ジュニア・アチーブメント日本
プログラム名	品川スチューデントシティ～子どもの社会体験を支援する～
活動の目標	プログラムに参加する児童のサポートを通じて、「共存社会」について見つめなおす。
内容	「品川スチューデントシティ」は、品川区の小学生が「①8時間の事前学習」→「②1日の実体験」→「③1時間の事後学習」に参加するというカリキュラムとなっています。1Day for Othersでは、参加学生に今回のプログラムで「②1日の実体験」の部分に大学生ボランティアとして企業の社員や地域住民、保護者ボランティアと協力し、先輩社員として児童をサポートしていただきます。 「品川スチューデントシティ」の具体的な内容は、学校の中に「街」を再現し、児童一人一人が、子どもとしてではなく、「責任あるひとりの大人」、「責任ある一市民」として経済活動に参加します。 具体的には、買い手側と売り手側の二役を交互に行います。これにより、売るという行為と買うという行為が繋がっていること、買うという行為は、働いて得られた収入によって成り立っていること、企業間も互いに支えあって成り立っていることなど、社会は仕事を通じてお互いに支え合っているという様々な「共存社会」を体験します。 街は9つのブースで構成されており、銀行・コンビニ・ソフトウェアの会社・スポーツ用品店・セキュリティ会社・薬局・国際航空貨物会社・公共機関の区役所があります。
備考	〔当日の持ち物、服装〕 当日は社会人の先輩として参加するので、それに合った服装をすること(スーツで来る必要はない) ミニスカートやダメージジーンズなどは不可。上履き(体育館ばきのようなもの)。 〔昼食について〕 昼食は持参すること。 ※参加中の休憩時間に買いに行くことはできない。 〔参加の注意点〕 小学生は社会人として参加するので、子ども扱いはいししないこと。 品川学園にはくれぐれも電話など問い合わせを行わないでください。取次はできません。
このプログラムのおすすめポイント	このプログラムは企業の実際の仕事を小学生が体験するので、サポートすると同時にボランティアの学生自身もその仕事に触れることができる良い機会です！！
リーダーから参加学生にむけて一言！	子どもの未来設計の一端を担う大事な日です！！アルバイトなど仕事をしたことがある人も、そうでない人もぜひぜひ参加してみてください！！皆さんにとって将来を考えるいい機会には必ずです！！
実施日程・募集人数	
※事前学習、学生観合せを除外	全 1 回 募集人数 リーダー学生 参加学生数/合計
第1回	日程A 6月14日 土曜日 14人 1人 15人

プログラムNo.	14
プログラム概要	
受入先名称	このはな草子
プログラム名	新感覚の紙芝居で、日本とネパールの子どもたちと一緒に遊ぼう！！
活動の目標	総合型紙芝居によって発揮される子どもたちの想像力、行動力、コミュニケーションの取り方を一緒に体験し、子どもたちがのびのび活動できるようお手伝いをする。
内容	このはな草子は、東日本大震災をきっかけに、被災地などで子どもたちが身体を動かして楽しめる、アクティブでインタラクティブな紙芝居の上演を行っている団体です。今回のプログラムは、都内にある保育園とネパールインターナショナルスクールでの紙芝居活動のお手伝いをします。紙芝居活動のお手伝いをして、子どもたちと紙芝居の世界に入ってつながろう！
備考	〔当日の持ち物、服装〕 動きやすい服装(ヒール、露出の多い服などは控えてください) 子どもたちと遊ぶことができそうなおもちゃ(3～5歳を対象としたもの。楽器などがあれば持参してください)。 〔昼食について〕 各自で持参。 〔参加の注意点〕 子どもが大好きで、子どもと接する上での基本的なこと(手洗いうがいをしっかりする、笑顔etc...)ができれば問題ありません！ 詳しくは学生同士の間合わせでお話します。ネパールインターナショナルスクールでは英語での開催になります。
このプログラムのおすすめポイント	総合型紙芝居は、放射能の影響で外で遊ぶことが困難となった子どもたちに身体を使って楽しんでおうちで遊べる要素を取り入れ制作された、アクティブな紙芝居です。新感覚の紙芝居を通じて子どもたちと触れ合うことで、身体を使ったコミュニケーションを取ることができます。普段のコミュニケーションを言葉に頼りがちな私達も新しい発見ができるはず！
リーダーから参加学生にむけて一言！	とにかく子ども達がかわいいです！ 子ども達と一緒に楽しみたい、絵が好きならにはたまらない企画です！ 一緒に子ども達を不思議の森に連れて行ってあげましょう！！
実施日程・募集人数	
※事前学習、学生観合せを除外	全 1 回 募集人数 リーダー学生 参加学生数/合計
第1回	日程A 6月20日 金曜日 5人 1人 6人

プログラムNo.	15
プログラム概要	
受入先名称	青みの家 フェアリーランド仲町台(株式会社 フェアリーランド)
プログラム名	1 Day for Others ～フェアリーランドで園児とふれあおう！～
活動の目標	活動を通して、家族を持って働くことの大変さ、また、小さいうちから親と離れて預けられている子どもとその親との親子関係を学びとる。また、それぞれの家族のありかたや、子育てのスタイルについても考える。
内容	園児との交流/絵本を見ながらクッキング(おにぎりとお味噌汁)/自然いっばいの緑道を散歩/大きな公園へ向かう/午睡(寝かしつけ含む)/目覚めておやつを準備する 〔雨天時のプログラム内容〕
備考	〔当日の持ち物、服装〕 エプロン(できればかぶるタイプまたはひもを前で結べるタイプ)・名札(宛名シールをこちらで用意します。)/動きやすい服装(スカートなどは避ける) 〔昼食について〕 園児と作るおにぎりとお味噌汁を一緒にいただくので、それに伴う実費の負担をお願いします。(300円程度) 〔参加の注意点〕 園児にけがをさせないようにアクセサリは身に付けないようにしてください。
このプログラムのおすすめポイント	子どもと一緒に散歩や交流をするだけでなく、簡単な料理も作るので、子どもに小さいうちから様々な体験をしてもらいたいという思いから料理に力を入れているフェアリーランドさんならではの体験ができます！
リーダーから参加学生にむけて一言！	普段あまり関わることが無い0～3歳の子どもとふれあってみませんか？短い時間ではありますが、とても充実した時間を過ごせると思います。
実施日程・募集人数	
※事前学習、学生観合せを除外	全 1 回 募集人数 リーダー学生 参加学生数/合計
第1回	日程A 6月11日 水曜日 4人 1人 5人

プログラムNo.	16
プログラム概要	
受入先名称	コミュニティスペース ふらっとステーション・とつか
プログラム名	「ふらっとステーション・とつか」で国際交流をしながらランチづくり体験
活動の目標	国境を越えて活躍する人々を知ることによって皆さんの世界を広げるとともに、地域に自分の居場所をつくりましょう！！
内容	「ふらっとステーション・とつか」では地域の主婦の方々ボランティアとしてつくる家庭の味を生かしたランチや、カフェ、ギャラリーを運営しながら地域住民の居場所づくりを行っています。今回はカフェ運営のボランティアサポートと、特別に国際交流メニューでランチづくりの体験を行います。その後、戸塚周辺で国際交流や国際支援を行っている団体のお話を聞いたり意見交換をしたりして、地域住民と交流します。(ハイチ、タイ、フィリピン、ネパールその他アジア諸国) 〔雨天時のプログラム内容〕 変更なし
備考	〔当日の持ち物、服装〕 エプロン、三角巾 〔昼食について〕 自分たちで料理を作って食べます。(参加者に材料費はかかりません) 〔参加の注意点〕 料理をするため、ヒールのある靴は避けてください。
このプログラムのおすすめポイント	地域のみなんで地域の人々のつながりをつくれる場、それが「ふらっとステーション・とつか」です。地域の主婦たちが地域の人々のためにボランティアで作るランチ運営の体験ができます。さらに戸塚やその近くに住んでいる人々と国際交流をテーマとして実際に国際支援活動を行っている人と交流できるイベントも特別開催されます。戸塚に自分の居場所をつくれるかも！！
リーダーから参加学生にむけて一言！	明学に入学して、初めて横浜や戸塚を訪れた人は多いと思います。私もその一人です。地域の人々と交流して戸塚にいる自分を好きになってみませんか？
実施日程・募集人数	
※事前学習、学生観合せを除外	全 1 回 募集人数 リーダー学生 参加学生数/合計
第1回	日程A 6月15日 日曜日 15人 1人 16人

プログラムNo.	17	プログラムNo.	18										
<b>プログラム概要</b>		<b>プログラム概要</b>											
受入先名称	特定非営利活動法人 放課後NPOアフタースクール	受入先名称	スープの会										
プログラム名	障害をもつ子どもたち、「ハンディキャップ・ヨガ」に挑戦しよう！	プログラム名	新宿の路上で生活する人を訪ねる～スープを配布する活動から、人とのつながりをつくる～										
活動の目標	障害をもつ子どもたち、保護者の方、支援をしている団体と関わり、その活動の意味や目的を知る。	活動の目標	路上で生活するとの出会いを通じて、地域社会のあり方について考えます。										
内容	<p>放課後NPOアフタースクールでは、子どもたちの自己肯定感、チャレンジ意欲、コミュニケーション能力を高めるべく、市民×学校×NPOというかたちで放課後改革にチャレンジしています。日本では元々、子どもは社会の子として皆で協力して育ててきましたが、今では子どもと社会が分断され、子どもは「自分が好きではない」、大人は「お金がかかるから子どもを増やしたくない」と言うようになってしまいました。しかし社会を見渡すと、「子どものために何かしてあげたい」という人はとても多く、その方たちと一緒に「子どもも親も地域も元気になる」ことを目指して様々な活動をされています。</p> <p>その事業の一環として、肢体に障がいをもった子どもたちのため、学校や家とは違う第3の場(空間)の提供をすることを目的に日中一時預かりをしており、ここでは、アートや音楽、スポーツ、タッピングやふろうせんぱーなど様々なプログラムを実施しています。</p> <p>今回のプログラムでは障がいをもった子どもたちとともに、「ハンディキャップ・ヨガ」をすることになりました。「ハンディキャップ・ヨガ」は、ポーズの形にこだわることなく、思うように体が動かない子どももゆっくり筋肉をほぐしていくことで、呼吸や身体の動きを合わせることで、人とのつながりや調和を感じることができます。私たちは準備、会場設置、傍でサポート、座る動作の補助の他、子どもたちと一緒にヨガに挑戦します。ヨガは講師の先生の指導があります。また、参加学生が医療ケアをすることはありませんので、ご心配せず参加してくださいね。</p>	<p>＜午前＞ 1. オリエンテーション 自己紹介、スープの会がめざしていること、内容、活動にあたっての留意点など ＜午後＞ 2. スープづくり 3. まちに出での活動(「路上訪問」) グループごとに分かれて、スープを配りながら、路上で生活される方に、声かけや会話をします。 4. ふりかえり 自分の気持ち、感じたことなど、その日の様子について、自由に語り合います。</p> <p>〔雨天時のプログラム内容〕 晴天時と同じ</p>											
備考	<p>〔当日の持ち物、服装〕 お昼ご飯、飲み物、筆記用具動きやすい服装(スカート不可。)</p> <p>〔昼食について〕 持参してください。</p> <p>〔参加の注意点〕 アクセサリーをつけない。爪を切る。髪が長い場合は結ぶ。靴は脱ぎ履きが安易なもの。更衣室があるので、着替えることも可能です。</p>	<p>〔当日の持ち物、服装〕 ＜持ち物＞筆記用具 ＜服装＞エプロン、三角巾(調理をするため)、動きやすい服装(ミニスカートや華美な服装は避けてください。)</p> <p>〔昼食について〕 お弁当持参可。休憩中にコンビニで購入もできます。</p> <p>〔参加の注意点〕</p>											
このプログラムのおすすめポイント	ボランティアという何かしてあげないといけないと思ってしまうのですが、私たちがすることは「ハンディキャップ・ヨガ」を通して一緒に楽しむだけで大丈夫です。気軽に参加してください！	このプログラムのおすすめポイント	「路上生活者とお話できる」というだけで新しい経験になると思います！心豊かなスタッフの方々との素敵な出会いもありますよ。そして何よりスープがとってもおいしいですよ。										
リーダーから参加学生にむけて一言！	「絶対に役に立たなければならぬ」、「素晴らしい心を持たなければ関わってはいけない」。ボランティアに挑戦するとき、みなさんはそのように思ったことはありませんか？そんなことはありません！障害を持った人と関わったことがある人となない人の違いはおそらく、ほんの少しの参加してみようという勇気だけです。気負う必要はありません、参加することに意味があります。リーダー学生が全力でサポートしますので、お待ちしてます！	リーダーから参加学生にむけて一言！	発見、発見、発見の嵐です！路上生活者に対しての固定されたイメージは必ずひっくり返ります！！										
<b>実施日程・募集人数</b>		<b>実施日程・募集人数</b>											
参加回数 ※事前学習、学生顔合せを除く	全	1	回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計	参加回数 ※事前学習、学生顔合せを除く	全	1	回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6月14日	土曜日	5人	1人	6人	第1回	日程A	6月8日	日曜日	9人	1人	10人